

九州シンクロトロン光研究センター利用推進協議会

設 立 趣 意 書

国においては、本年六月に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針二〇〇四」におきまして、経済活性化に向けた重点施策の一つとして、燃料電池等の先端的な新産業分野を戦略的に創造する「新産業創造戦略」を推進することとされています。さらに、我が国の科学技術政策を具体化するために策定された「科学技術基本計画」では、二十一世紀を展望して科学技術は社会の持続的発展の牽引車であるなど、その必要性が明記され、重要政策として、情報通信、環境、ナノ・バイオテクノロジーなどの国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化や産業技術力の強化等を図っていくこととされています。

一方、九州地域においては、半導体関連産業が集積した地域特性を生かし、さらなる地域産業の活性化を目指した「九州シリコン・クラスター計画」を始めとして、産業振興や学術振興を図るための各種プロジェクトが推進されています。

そのような背景の中、『新産業創造、地域産業の高度化に向けたアジアワイドの高輝度光産業開発交流拠点』をコンセプトに、九州における初めてのシンクロトロン光応用研究施設である「佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター」（以下「研究センター」という。）が来春の完成を目前に整備が進められています。

この研究センターを二十一世紀の新規・成長産業として期待されます新素材やマイクロマシン、ナノ・バイオテクノロジーなどの分野における産学官の研究開発拠点として育成・強化し、利活用を図ることは、九州地域、さらには我が国、ひいてはアジア諸国を含めた広範な地域の経済発展や学術振興、並びに教育・文化の振興に大きく寄与するものと確信いたしております。

そこで、産学官が連携して、研究センターの利活用の気運づくり及びシンクロトロン光利用の研究、普及啓発活動等を行う「九州シンクロトロン光研究センター利用推進協議会」を設立することといたしました。より多くの方にこの趣旨にご賛同いただき、本協議会にご参加くださいますようお願い申し上げます。

平成十六年十月吉日

設立発起人

佐賀県知事 古川 康

国立大学法人佐賀大学長 長谷川 照

社団法人九州・山口経済連合会会長 鎌田迪貞

財団法人九州産業技術センター会長 大野 茂

独立行政法人産業技術総合研究所九州センター所長 伊ヶ崎文和

佐賀県商工会議所連合会会長 指山弘養

佐賀県シンクロトロン光応用研究施設利用研究フォーラム

エレクトロニクス研究会代表 小川博司（佐賀大学）

微細加工研究会代表 日高昌則（九州大学）

新素材開発研究会代表 本岡輝昭（九州大学）

基礎光科学開発研究会 栃原 浩（九州大学）

表面・界面ダイナミクス研究会代表 鎌田雅夫（佐賀大学）

分析・解析技術開発研究会代表 脇田久伸（福岡大学）

環境分析研究会代表 田端正明（佐賀大学）

生体分子構造研究会代表 渡邊啓一（佐賀大学）

バイオメディカルサイエンス研究会代表 豊福不可依（九州大学）

マイクロビーム研究会代表 近浦吉則（九州工業大学）

FEL（自由電子レーザー）研究会代表 山部長兵衛（佐賀大学）

量子ビーム科学研究会代表 的場 優（九州産業大学）

佐賀九州シンクロトロン構造科学チームライン研究会代表 原 一広（九州大学）

九州シンクロトロン光研究センター所長 上坪宏道